



# しののめだより

令和5年度第15号

令和5年12月18日発行

富士東高校情報交換ひろば



令和5年も残すところ2週間あまりとなりました。しののめ探究は、最終報告に向けた進展の過程にあります。今回は1、2年生それぞれ一人ずつのワークシートを取り上げ、現在地を紹介します。

## 【2年生】「つながるシート」で調査の計画

2年生のグループ探究は、11のゼミに分かれ、さらに数人単位のユニットを編成しています。中間発表後は、修学旅行を挟み、さらに探究を深めるための実地調査等を行います。12月12日のしののめ探究では、各期グループで「つながるシート」を作成しました。

### ゼミ

- ①芸術・文化・文学 ②教育学・心理
- ③歴史学・哲学・人類学 ④社会・経済
- ⑤政治・政策・まちづくり ⑥国際・語学
- ⑦生物・農学・栄養 ⑧ものづくり・情報・数学
- ⑨地球・災害・宇宙 ⑩医療・看護 ⑪スポーツ

### ▶ 「つながるシート」Eさんの場合

テーマ「歴史」

解決したい「問い」

「富士市の寺社仏閣と地域の歴史の関係はどのようなものか？」

探究の動機

3人の歴史グループで探究しています。もともと地元に関連したことを考えようとしていました。自分たちの身近にある、地域に根ざした文化を知りたいです。あまり大きいと漠然としてしまうので、寺社仏閣に絞ることにしました。

今後の見通し

歴史民俗資料館では、展示を見たり、職員の方にインタビューをしたりして、どのような文化が残っているのか情報を収集します。中間発表では準備不足で迷走してしまい、満足のいくものになりませんでした。アンケートやデータ、表を活用して、視覚的にもわかりやすく伝えることが大切だと思います。情報が足りない部分もあったので、次の発表までにしっかりまとめられるようにしたいです。

富士東高校 しののめ探究  
つながるシート

ゼミ・班など ( 6-C ) HRNO ( ) 氏名 ( )  
ゼミ担当 ( ) 先生  
シート提出日 20 年 月 日

外部へ連絡する前に、必ずこのプリントをゼミ担当の先生へ提出してください

#### 質問・取材の目的

Q. 質問・取材を通して、どのような問いを解決したいのか？

富士市と寺社仏閣の関係性を調べるため

Q. これまでの探究の状況は？ 質問・取材をする必要性は？

1次資料が少ないため、補充する  
ネットの情報に限界を感じたため  
専門家の意見を仰ぐため

#### 質問・取材の内容

Q. 当てはまるものを一つ選び、チェックを入れよう

- 問題解決の取組事例を知りたい
- 実験の内容・方法について知りたい
- 参考となる文献や資料を知りたい
- アンケート等の調査でデータを集めたい
- わからない内容について知りたい
- その他 ( )

具体的な質問・取材の内容 (必ず記入)

富士市ができる前の歴史(明治前)  
富士市にある寺社仏閣の歴史(有名所さん)  
今日にも残る、富士市の伝統や文化

#### 問い合わせ先

名称 歴史民俗資料館  
※東高の先生の場合： ゼミ担当 その他  
担当者 \_\_\_\_\_  
担当部署 \_\_\_\_\_  
所在地 静岡県富士市伝法  
66-2  
電話番号 0545-21-3380  
メール \_\_\_\_\_  
アドレス等 \_\_\_\_\_

#### チェックリスト

- 質問・取材シート作成
- アンケート作成
- 電話・メールなどの文章作成
- ▼
- ゼミ担当の先生に、以上を提出  
担当の先生の指示を待つ
- ▼
- 外部取材OKの場合、実施
- 訪問の場合、自分の予定を確認  
→外部へ予約 (アポ) 実施後お礼

## 【1年生】探究計画書で見通しをもつ

1年生の個人探究は、個別の興味・関心に基づいて進めています。中間発表の前後で、「探究計画書」を完成しました。静岡県立大学の学生アドバイザーさんからのアドバイス（以下、Fさんの場合は赤字部分）を踏まえて、いっそうのブラッシュアップを目指します。

### 探究計画書

グループ名 <b>I36</b>	HRNO 名前 作成日 11月9日
リサーチクエスト (問い)	日本語と英語ではどちらのほうが難しいのか？
先行研究のレビュー (夏休みの論文等) ※参考文献に書き出す	夏休みの課題で取り上げた論文 「英語と日本語の構文選択における差異について」 例文の構成から、日本語は主観的であるのに対し英語は客観的であるという文法的な違いがよくわかった。 筆記の面でも会話の面でも大きく関係する文の構成はこの問いの良い材料になると考える。
課題意識 (理由、仮説等)	理由：中学生の頃から英語が好きで、日本人として英語が難しいと感じることは当たり前のことだけれど、客観的に見るとどちらの言語のほうが難しいと感じやすいのだろうか？とずっと気になっていたから。高校での探究学習を利用して真剣に考えてみたいと思ったから。 仮説：ひらがな・カタカナ・漢字と基礎知識として覚えることの多い日本語のほうが難しいと感じやすいのではないかな。
今後の計画 (調査方法を具体的に)	自分なりに根拠を明確にして考察をたててから調査を始め、その事実確認、なにが事実と違っていったのかを確かめる。 単語の数、文法の特徴、話すうえでの発音など、様々な面から日本語と英語、2つの言語を比較する。 英語の先生に、英語を学んでどちらのほうが難しいと感じているのか聞いてみる。
参考文献	「英語と日本語の構文選択における差異について」岩畑貴弘 著

すでにこういった仮説を持っている点が素晴らしい！文字の種類に絞るのであれば、日英で文字の持つ成分が異なること（表音、表意）も調べてみるといいかな...

英語研究において単語、文法、発音、構文などは分野が全て異なるため、まずは一つに絞って調べてみることをお勧めします！導入として簡単な差異を比較してみるの良さそうです。

### ◀「探究計画書」Fさんの場合

テーマ「言語」

### 解決したい「問い」

「日本語と英語ではどちらのほうが難しいのか？」

### 探究の動機

日本人にとっては当たり前ですが、日本語は文字だけでも3種類あり、実質3か国語だよねと友達と話したことがあります。もともと英語が好きで、夏休みに読んだ論文から、英語と日本語との差異について学び、もっと調べてみたいと思いました。

### 今後の見通し

英語の先生やサラ先生へのインタビューを通して、仮説を検証していきたいと思います。探究を通して得られた成果が、その先の英語の学習などに生かしていけたらいいなと考えています。

## 「しのめ探究ハンドブック」

富士東高校  
しのめ探究

しのめ  
たん  
ハンドブック

### 探究の全体像

第1章 探究入門—己を知る

#### 1. 課題の設定

- ①テーマを設定する
- ②大きなテーマを小さく分解する
- ③テーマに関する対象を設定する  
→以上は1.1を参照
- ④テーマに対する問いを立てる→1.2
- ⑤対象に対する問いを立てる→1.2
- ⑥問いをもとに仮説を立てる→1.5

アイデアを出す→1.3、1.4  
学問について知る→1.6

#### 2. 情報の収集

- ① 問いに関する先行研究・事例を調査する→2.1
- ② ①をもとに問いを立て直す→2.2
- ③ ②の解決に必要な方法を考える  
→2.4 量的調査と質的調査

情報収集のプロセスを記録する→2.3

#### 3. 整理・分析

- ①調査結果を適切に調査・分析する→3.1
- ②クロス集計する→3.2
- ③グラフ・表にまとめる→3.3
- ④質的調査の結果を分析する→3.4
- ⑤グループで整理・分析する→3.5

#### 4. まとめ・表現

- ① 探究結果をまとめ・表現する→4.1
- ② 探究成果を発表する→4.2
- ③ 探究成果を実践する→4.3

第2章 SDGsを理解し、解決策を模索する—己を磨き社会を知る

第3章 将来とつなげる—己を磨き他に尽くすための道路実現

(付録) つなげるシート・まとめるシート

(付録) 外部とのやりとりマニュアル

引用・参考文献を記載する

このほど、富士東高校オリジナル「しのめ探究ハンドブック」を刊行しました。これまでの探究の歩みを系統的に一冊にまとめ、自ら学びを深めていくための道しるべとして、「これさえあれば」を集めました。

1、2年生の全員と、3年生の進路決定者に配布しました。

この一冊を片手にポロポロになるまで使い込み、富士東高生が自らすすんで探究者となっていくことを願っています！

